

社協だより



うるま市福祉まつり

令和元年11月30日、市民芸術劇場とその周辺にて、第12回うるま市福祉まつりを開催しました。

まつり会場では、にこにこキッズフェスタも同時開催され、来場者数は約4,000人と盛況でした。オープニングでは具志川中学校の生徒によるマーチングで盛大にスタートし、楽器演奏、ファッションショー、ボランティア活動報告会や中部農林高等学校福祉科による認知症劇と、14団体が日頃の成果を発表しました。

会場では、ふれあい移動動物園、車いすサッカー体験や各種体験コーナーなど12団体が参加し、活動紹介パネル展示に21団体、販売ブースでは17団体が、手作りお菓子、小物雑貨、野菜などの販売を行い、会場に詰めかけた皆様を楽しませていました。

令和元年度 うるま市地域福祉活動報告会

令和2年1月29日に「令和元年度 うるま市地域福祉活動報告会」が行われました。「こどもの未来は地域の未来」をテーマに3団体（宮城児童館・b&gうるまわいど・田場区自治会）に活動報告を行っていただきました。ご多忙にも関わらず、多くの自治会関係者・民生委員・関係機関の参加がありました。

会の最後にはこどもの居場所に取り組む団体への助成金（子どもの居場所サロン助成金）の紹介もあり、自治会からはさっそく取り組んでみたいとお声もあり、私たち社会福祉協議会も一緒になって考え、地域づくりに取り組めていければと思います。

※助成金の詳しい内容について、お聞きしたい方は是非、お問合せください。



第15回うるま市社会福祉大会

令和2年2月11日、うるま市健康福祉センターうるみにて、「第15回うるま市社会福祉大会」が開催され、多くの福祉関係者が参加しました。

大会式典では、市社協の運営や地域福祉活動に貢献された方々へ表彰が行われ、特別功労・多額寄付で個人57名、25団体に対して表彰・感謝状の授与がありました。

式典終了後には、若狭公民館館長宮城潤氏による『やっぱり公民館！地域はやっぱり「温か〜い」』をテーマに記念講演が行われ、若狭公民館での地域活動の取り組みを参加者が熱心に聞き入っていました。



「社協だより」は、赤い羽根共同募金を活用しております。

児童館の子どもたちがフードドライブの取り組みに感謝状

令和元年7月から日本郵便沖縄支社様とうるま市と社協とが協力して、市内郵便局12局へフードボックスを設置し、地域の皆さまから家庭で余っている食品などを寄付していただき、市内の児童館6ヶ所へ配布するというフードドライブ活動が始まっています。

令和元年11月27日、勤労感謝の日にちなんで、いしかわ児童館を利用している子どもたちが石川城前郵便局を訪問し、寄付をいただいた地域の皆さまへの感謝状と折り紙で作ったお花が託されました。いしかわ児童館の玉那覇館長からは、「フードドライブの取り組みが始まってから、子どもたちへより多くの食事を提供できるようになり、地域の皆さまの善意にとっても感謝している。こうした活動が感謝の気持ちや助け合いや物を大切にするといったやさしい心を育み、子どもたちが成長し大人になったとき、今度は寄付する側になるなど、次の子どもたちへやさしい心のバトンが繋がっていくようお願いしている。」と感謝の言葉が述べられました。

詳しくは、うるま市社会福祉協議会
地域福祉課（比嘉、仲村）



うるま市いしかわ児童館の子どもたちと石川城前郵便局岩尾局長

～地域見守りネットワーク連絡会の開催～

当会では、住民が安心して暮らせる地域社会づくりを実現するため、市内民間事業所と「地域見守りネットワーク活動に関する協定」を締結しています。

活動の一環として、年に2回、情報の共有や見守り活動中に想定される事象に対応できるよう連絡会を行っています。今年度は「救急救命講習」と「精神障がい者に対する理解と対応方法」について講話をして頂きました。

各事業所からご参加いただきました皆さまありがとうございました。また、当会では新たにご協力いただける企業を大募集しています。ぜひ、お問い合わせください。今後とも見守り活動へのご協力よろしくお願いいたします。



ボランティア活動を応援!

～令和2年度 助成金応募団体を募集します～

うるま市の福祉向上や地域の課題解決を目的に、ボランティア団体の活動を支援する「うるま市ボランティア団体活動支援助成事業」の応募団体を募集します。

助成金 3万円コース・10万円コース

対象 うるま市で活動するボランティア団体（自治会など地縁組織活動を除く）で、ボランティアセンターへの登録が前提となっています。

申込締切 令和2年4月24日（金）

申込方法など詳細は、うるま市ボランティアセンター（☎098-973-5459）までお問い合わせください。

※この助成事業の財源は、「赤い羽根共同募金配分金」を活用しています。



まだ食べられるもの、捨てていませんか?

～食品の寄付を受付けています～

うるま市ボランティアセンターでは、営業時間内でフードドライブ(食品の寄付の受付)を行っています。ご家庭で不要または、分けても良い食品がありましたら、ボランティアセンターまでお持ちください。届けられた食品は必要としている方へお届けします。

☆お持ちいただきたい食品

- お米(玄米・タイ米・ジャスミンライスなどは不可)
- 缶詰
- インスタント食品・レトルト食品(常温)
- 乾物
- 嗜好品(菓子・コーヒー・お茶など)
- 調味料



☆持っていく前に確認しよう

- 賞味(消費)期限が一月以上残っている
- 常温保存が可能である
- 未開封である。

※酒類・お薬は受け入れできません。

人の命をつなぐ活動であり、食品ロスを減らす為にもご協力お願い致します。

うるま市社会福祉協議会／ボランティアセンター

電話(098)973-5459 FAX(098)974-5306

地域貢献・社会貢献の一環として、企業よりたくさんの食品の寄贈がありました。頂いた食品は、子どもの居場所づくりを行っている団体へお届けしました。



第一生命具志川営業オフィス 様



カーブスうるま石川 様



Eスペース 様

ありがとうございます！
いざいしました！

「社協だより」は、赤い羽根共同募金を活用しております。

生活支援体制整備について

うるま市社協では平成29年度より、生活支援体制整備事業を推進しています。

この事業では、住民が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、住民や関係団体が協力し、日常生活の困りごとやその解決方法をとともに考えていく仕組みづくりを目指しています。その中で、住民が主役となり、助け合いや支え合いを通じた活動ができるために「協議体（ゆんたく会）」と「生活支援コーディネーター」が設置されています。

協議体（ゆんたく会）とは、地域の多様な主体がメンバーとなり、今やっていることや無理なく今できることなどをみんなで話し合う仕組みです。

地域の宝物（資源）をもっともっと輝かせ、地域が住みよい街になるようにするには・・・

みなさんでゆんたく会（協議体）をしませんか？

顔なじみやお互い様の関係だからこそ分かる地域の困りごとや、あなたの「こんなことをやりたい！」をみんなで話し合い、考えてみませんか？

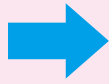
生活支援コーディネーターは、地域の応援団です！

ゆんたく会（協議体）を開催したい地域の方は、どうぞ生活支援コーディネーターまでご連絡下さい！

ふだんのくらしのなかの
あわせのしくみづくり



サロン



サークル



ゆんたく会

地域の宝物



地域を愛する人

地域の行事

ご近所同士の
ちょっとした助け合い

うるま市社協デイサービス

～いつもの暮らしをそのままに～

新しい場所、新しい環境は、思いのほかストレスを感じるものです。

できることなら住み慣れた我が家、通いなれた道、いつもの暮らしが一番。

私たちは、利用者様の心身の特性をふまえて、出来るだけ、いつもの暮らしに近い状態で、安心して過ごしていただけるよう、職員一同、取り組んでいます。見学・体験ができます。

問合せ：TEL098-978-0011



生きがい活動支援通所事業 ミニデイ推進員 ふれあい交流会

令和元年11月18日（月）午前10時半～13時
うるみん3階ホールにて

平成31年度・赤い羽根共同募金の配分を頂き、ミニデイ推進員ふれあい交流会を実施。

総勢148名の参加者が集い、ミニデイで使えるレクリエーションと推進員の協力のもと、民謡の実践。昼食をはさみコミュニケーションを取りリフレッシュ。

地域で取り組んでいる遊具の紹介。などなど・・・

最後は、全員で踊り一本締めで終了。楽しい一日となりました。



「社協だより」は、赤い羽根共同募金を活用しております。

一人親世帯等新入学児童激励金のお知らせ

【内 容】

一人親世帯などの新小学1年生を対象として、激励金申請の募集をいたします。

【対 象 者】

市内に居住する母子世帯、父子世帯、その他祖父母等が養育している世帯が対象となります。
市外に通学する小学生も対象です。ただし、生活保護を受給している世帯は対象外です。

【申請期間】

令和2年4月8日（水）から22日（水）まで

【申請方法】

各小学校宛にチラシ兼申込書を配布します。通学する小学校より受取って頂き必要事項を記入のうえ、最寄りのうるま市社会福祉協議会の本所・支所の窓口にて申請して下さい。

【問合せ先】

本所 098-973-5459、石川支所 098-964-2494、勝連支所 098-978-5914
与那城支所 098-978-0011

ご寄附ありがとうございます

平成31年4月1日から令和2年1月受付まで(順不同・敬称略)

<香典返し>

御 芳 名	金 額	故 人 名
喜 納 ハ ル	100,000	喜 納 兼 信
喜 納 兼 孝	50,000	喜 納 初 子
金 城 正 巳	50,000	金 城 春 子
上 門 幸 男	100,000	上 門 ヨ シ
石 川 栄 子	50,000	石 川 貴 康
大 庭 政 智	110,000	大 庭 一 政
池 原 トモ子	100,000	池 原 成 侑
仲 元 盛 功	30,000	仲 元 しず子
仲 尾 清 康	50,000	仲 尾 タ ケ
天 願 伸 一	100,000	天 願 順 子
島 袋 綜 吉	100,000	島 袋 ア キ
東 原 清 信	30,000	東 原 清
長 浜 善 邦	50,000	長 浜 優 子

<一般寄附>

御 芳 名	金 額
(宗)石水山浄願寺	20,000
(有)システム技研	250,000
mammy'sマーケット うるマルシェ	50,721
うるま歌謡友の会	800,000
うるま市与那城民生委員児童委員協議会	50,000
ココガーデンリゾートオキナワ	64,000
ちよこ歌謡教室	200,000
ナニマイルフラススタジオ	100,000
バイオマス再資源化センター	300,000
ライムライト歌謡クラブ	234,690
阿波根 昌興	100,000
株式会社P.E.C	100,000
株式会社司海洋土木工業	100,000
(株)キョウリツ	50,000
(株)タバタ	500,000
(株)沖縄有機	50,000
具志川なつメロ友の会	618,079
上間 太精	40,000
前武當 義雄	5,000
比嘉 弘之	10,000
平安株式会社	100,000
又吉 幸子	500,000
(有)昭和事務機社	100,000



皆さまから寄せられました寄附は、当社会福祉法人が行う社会福祉事業のために活用させていただきます。

「社協だより」は、赤い羽根共同募金を活用しております。